

利用者を知る

・利用者の希望

(現在の状況 → 希望する近い未来の予想図)
 廃用改善
 吐き気改善
 自宅でのリハ 運動⇒睡眠
 アミティーザ減量⇒
 美味しく食事が食べれる事
 & 排便改善

👉モチベーション QOL向上

・利用者の生活把握

食事回数、食事内容、水分量は？

👉**薬剤の服用回数、脱水注意。**

2021/06/24

一般社団法人川崎市薬剤師会

1

薬剤師として期待されている事

<利用者家族から>

- ・わかりやすく説明してほしい。
- ・専門的な相談にのってほしい。
- ・服薬管理をしてほしい（整理方法）
- ・主治医と直接連絡・相談してほしい。

<多職種から>

- ・情報共有したい。
- ・服薬管理をお願いしたい。（個々にあった管理方法）
- ・利用者にわかりやすく説明してほしい。
- ・専門的な相談にのってほしい。
- ・主治医に直接連絡・相談してほしい。

2021/06/24

一般社団法人川崎市薬剤師会

2

これからの問題点

- 国民医療費の中で処方箋薬の飲み残しによる損失500億円と
言われている中で在宅医療に薬剤師が関わる意義。
-  キッチンと服薬するための支援（整理）。

2021/06/24

一般社団法人川崎市薬剤師会

3

自宅医療とは

- 医療の問題だけではない。 **生活支援！**
-  **介護の手間の増加にいかに対応するか**

普段からの地域連携力が重要

2021/06/24

一般社団法人川崎市薬剤師会

4

まとめ

地域包括ケアシステムの連携

🏠 普段からの情報共有、相談などを軸とした

地域での多職種との連携をさらに深めていく事が**大事**。

2021/06/24

一般社団法人川崎市薬剤師会

5

しっかりと聞く

- 最初のひとは

～そうですね。

2021/06/24

一般社団法人川崎市薬剤師会

6



7

認知症の基本理念

- 人生の先輩として尊敬する。
- しっかりと話を聞く。
- 不安を与えない。
- 症状病態をしっかりと理解する。
- 決して感情的にならない。

2021/06/24

一般社団法人川崎市薬剤師会

8

高齢者の嚥下・咀嚼機能低下の原因

①脳血管障害による影響

- A:咽頭の知覚の低下
- B:咽頭の運動の低下
- C:咽頭、喉頭の知覚の低下



②認知症による影響

- A:ペーシング機能の障害



③加齢による影響

- A:喉頭挙上が不十分
- B:臼歯がない



④薬剤や治療による影響

- A:睡眠薬、抗癌薬、抗うつ薬
- B:抗コリン薬、利尿剤



2021/06/24

一般社団法人川崎市薬剤師会

9

抗コリン作用とは？

- 神経伝達物質 アセチルコリン の働きを阻害する作用のこと
ようするに コリンの伝達の邪魔をする! ということ

う、防ぐ)



抗(逆ら

⇒ アセチルコリン って何？

⇒臓器に届くまでの神経でかかわってくる物

- コリン作用の直接関わる主な 臓器13カ所

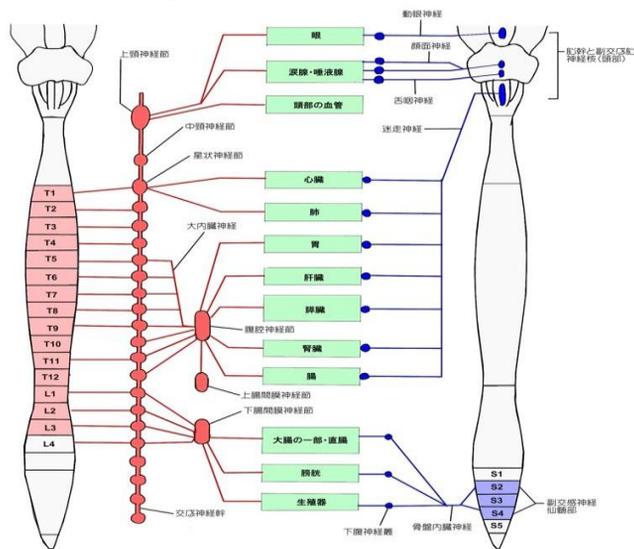
- 皮膚、血管、眼、唾液、鼻咽喉腺、肺、心臓、胃、腸、胆嚢、膵臓、副腎髄質、膀胱

2021/06/24

一般社団法人川崎市薬剤師会

10

交感神経と副交感神経



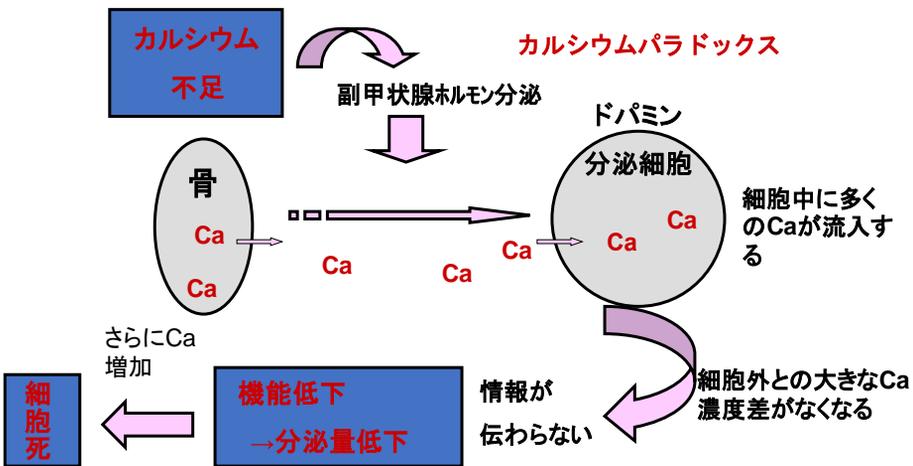
2021/06/24

一般社団法人川崎市薬剤師会

11

パーキンソン病

中脳黒質緻密質のドーパミン分泌細胞が変性して細胞死を起こすことが主な原因である。細胞死を細胞内のカルシウム濃度調節は密接な関連があると言われており、近年、細胞内カルシウム濃度調節を行うタンパク質が細胞死を防いでいると報告されていることから、カルシウムとパーキンソン病の関係が注目されている。



カルシウム不足の場合、副甲状腺ホルモンが増える。増えた場合、骨からカルシウムが溶け出して、細胞にカルシウムが流入する。カルシウムは細胞内外の濃度差により情報伝達を行うため、濃度差がなくなると細胞の機能が低下する。さらにカルシウムが流入すると、細胞死となる。

2021/06/24

一般社団法人川崎市薬剤師会

クリニカル リサーチより

12

薬剤性パーキンソニズム

歩幅が狭くなった
(小刻み歩行)

動作が遅くなった

表情が少なくなった

手が震える

歩き方がふらふらする

1歩目が出ない

手足が固い

声が小さくなった

Point → 何らかの薬を飲んでいて、上のような症状に気づいたら薬剤師に相談してみてください。
一般社団法人川崎市薬剤師会

13

薬の種類

薬効分類	一般名 (商品名)
抗精神病薬	スルピリド (ドグマチール) チアプリド (グラマリール) ハロペリドール (セレネース) など
胃の薬	メトクロプラミド (プリンペラン) ドンペリドン (ナウゼリン) スルピリド (ドグマチール) など

Point → その他、パーキンソン病のような症状を起こすお薬はたくさんあります。患者さんの訴えや様子で何かおかしいなと気づいた時は、薬剤師にご相談ください。

2021/06/24 一般社団法人川崎市薬剤師会

14

抗コリン負荷のある薬剤

- 強い抗コリン作用
 - クロルプロマジン
 - アミトリプチン
 - プロパンテリン
 - シプロヘプタジン
 - タベンタドール
 - チオトロピウム
 - ベンズトロピン、、、、etc
- 弱い抗コリン作用
 - クエチアピン
 - パロキセチン
 - フェキソフェナジン
 - ロラタジン
 - コデイン
 - チオトロピウム
 - クロナゼパム
 - ジゴキシシン
 - アマンタジン
 - テオフィリン、、、、etc

2021/06/24

一般社団法人川崎市薬剤師会

15

認知機能障害の原因になりうる薬剤

- 抗コリン作用薬
 - 抗痙攣薬
 - 抗うつ薬
 - パーキンソン治療薬
 - 抗精神病薬
 - リチウム
 - オピオイド鎮痛薬
 - コルチステロイド
 - 鎮静薬
- 抗生物質
- 抗不整脈薬
- 血圧治療薬
- 化学療法薬
- 生薬（セントジョーンズワート）
- 糖尿病治療薬
- 抗炎症薬
- 制酸剤/H2遮断胃腸薬
- 抗ヒスタミン薬

2021/06/24

一般社団法人川崎市薬剤師会

16

* 抗コリン作用がある薬です *

口の働きが悪くなると

症状

嚙めない 飲み込めない 誤嚥 窒息

- むせる
- 飲み込みにくい

原因

口唇閉鎖が不十分

咀嚼能力の低下

唾液の減少

唾液の分泌を抑える薬

- 潰瘍治療薬
- 降圧剤
- 抗うつ剤
- パーキンソン治療薬
- 抗ヒスタミン剤
- 鎮痛剤
- 睡眠薬
- 利尿剤

2021/06/24

一般社団法人川崎市薬剤師会

17

嚥下しやすい食品の条件

嚥下障害者にとって、嚥下し易い食品の形態は、

- 1.凝集性が高い
- 2.付着性が低い
- 3.変形性が高い

という物性を兼ね備えていることが必要である。

凝集性が高い！
バラバラにならない
→食塊が形成しやすい



付着性が低い！
ベタつかない
→残留しにくい



変形性が高い！
(柔らかい！)
→スムーズに通過する

2021/06/24

一般社団法人川崎市薬剤師会

18

口腔ケアの必要性

1 高齢者の死因に肺炎がある

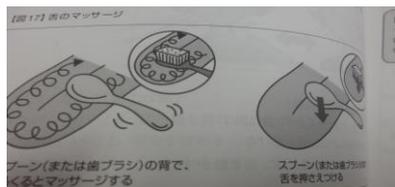
口腔内の不潔と摂食・嚥下機能の低下による

2 寝たきりの予防 嚥むことの重要性

嚥んで食べられることは脳を活性化させ認知症予防になる

唾液をだし消化を助ける。免疫機能が細菌を抑え・発癌物質を減少させるといわれている（口腔の自浄作用）

3 全身の感染症を防ぐ



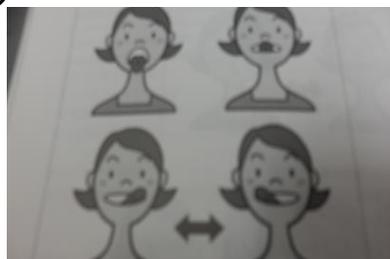
団法人川



19

リハビリテーション

- 飲み込む力を強くする
- 頬の力をつける
- 唇の体操
- 舌の体操
- 唾液を出すためのマッサージ



2021/06/24

一般社団法人川崎市薬剤師会

20